

橘処理センター

視 察 資 料

[環 境 委 員 会 資 料]

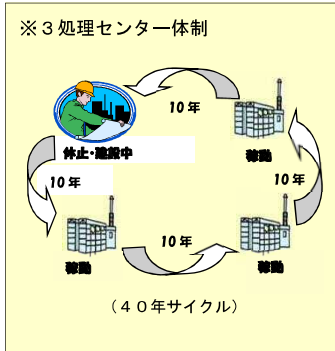
資料1 橘処理センター整備事業について

平成27年7月21日

環 境 局

1 ごみ焼却処理施設の整備方針について

- 「今後のごみ焼却処理施設の整備方針」を平成 23 年 10 月に策定
 - ・ 安定的かつ効率的な廃棄物処理と円滑な建替工事を両立するため、ごみ焼却量を年間 3 7 万トン以下に抑制したうえで、現在の 4 つの敷地を有効活用し、通常、3 つの処理センターを稼働させ、1 つの処理センターを休止、建設中とする
 - ・ はじめに橋処理センターを建替え、その後堤根処理センターを建替え予定
- 本年 4 月から橋処理センターを休止し、3 処理センター体制スタート



◀ 処理センター位置図 ▶

王禅寺処理センター

- ・ 処理能力 450 t / 日
- ・ 平成 24 年度稼働 (平成 28 年度リサイクルパーク あさお資源化処理施設稼働予定)

浮島処理センター

- ・ 処理能力 900 t / 日
- ・ 平成 7 年度稼働

橋処理センター

- ・ 処理能力： 600 t / 日
- ・ 竣 工： 昭和 49 年度稼働 (平成 27 年度から休止)
- ・ 位 置： 川崎市高津区新作 1 丁目 1787 番 3 ほか
- ・ 区域面積： 約 24,500m² (準工業地域)

堤根処理センター

- ・ 処理能力 600 t / 日
- ・ 昭和 54 年度稼働 (平成 34 年度から休止予定)

2 橋処理センター整備概要

(1) 処理能力等

橋処理センターの建替えにあたっては、平成 34 年度の稼働に向け、安全・安心かつ環境に配慮するとともに、ごみの持つエネルギーを有効に活用し、より高効率なエネルギー回収設備を導入する計画としています。

項 目		計画施設	既存施設
ごみ焼却 処理施設	処理能力	600t/日	600t/日
	処理方式	ストーカ式	ストーカ式
	煙突高さ	100m	100m
	エネルギー回収率 (発電能力)	21.5%以上 (14,000kW程度)	6% (2,200kW)
資源化 処理施設	処理対象	ミックスペーパー	粗大ごみ
	処理能力	45t/5時間	50t/5時間
公害防止 自主基準値 (排出ガス)	ばいじん	0.008g/m ³ N以下	0.02g/m ³ N以下
	硫黄酸化物	8ppm以下	30ppm以下
	窒素酸化物	24ppm以下	58ppm以下
	塩化水素	8ppm以下	50ppm以下
	ダイオキシン類	0.008ng-TEQ/m ³ N以下	0.5ng-TEQ/m ³ N以下

(2) 土地利用計画

土地利用計画については、敷地の高低差を利用した造成地盤を設置し、狭小な敷地を立体利用することで、川崎市民プラザとの連続した広域空間を確保する計画としました。

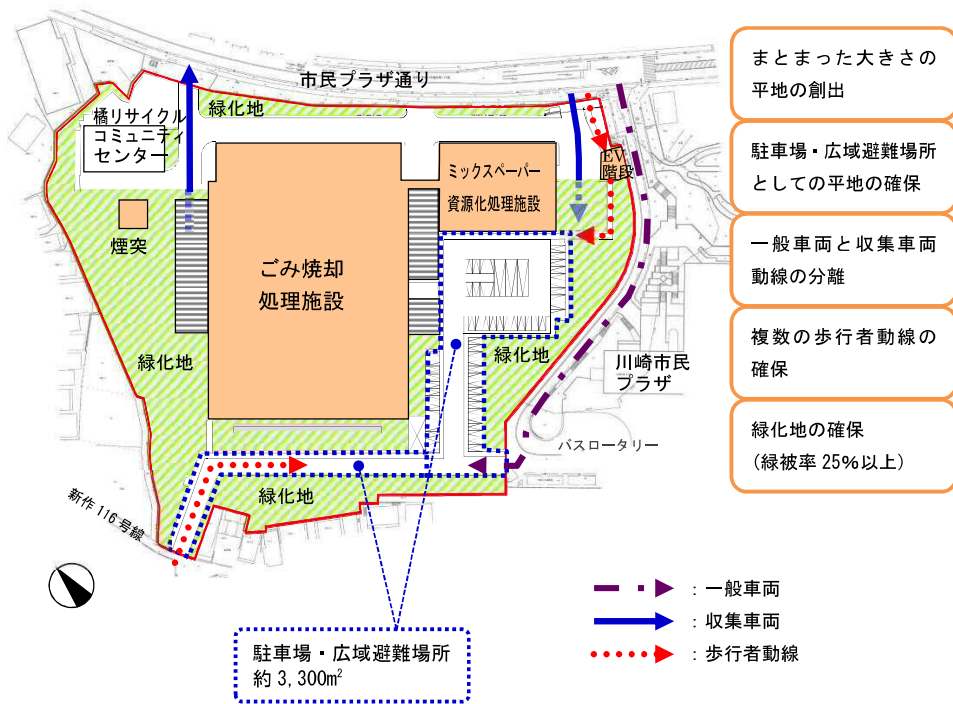


完成イメージパース図



完成イメージ模型写真

(3) 土地利用計画図



まとまった大きさの平地の創出

駐車場・広域避難場所としての平地の確保

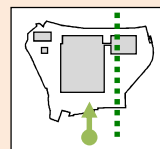
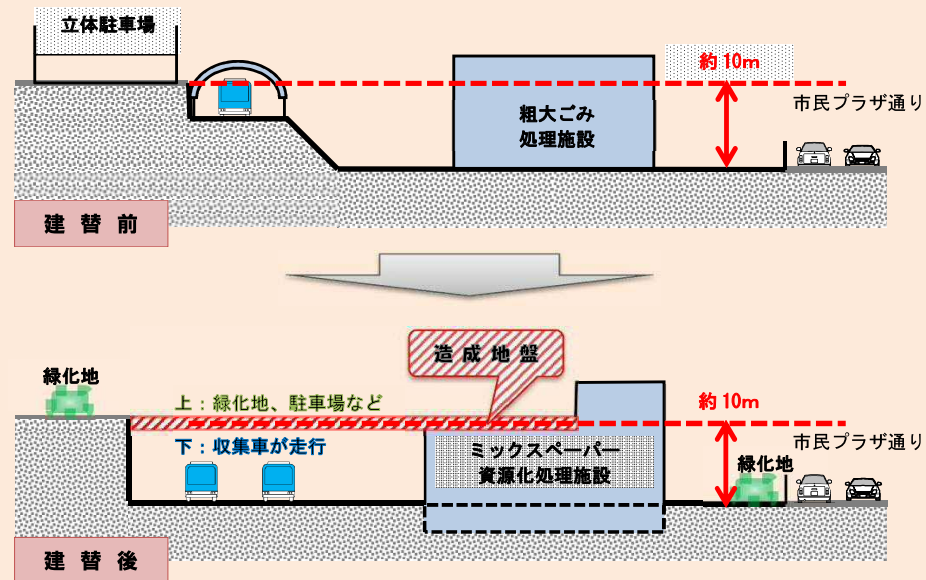
一般車両と収集車両動線の分離

複数の歩行者動線の確保

緑化地の確保
(緑被率 25%以上)

- ▶ : 一般車両
- ▶ : 収集車両
- ⋯▶ : 歩行者動線

〔建替比較断面図〕



完成イメージ

3 整備事業スケジュール

年度									
H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34
環境影響評価手続			条例環境影響評価準備書						
			解体撤去工事						
						建設工事			稼動